


<p>【氏名】 並木 雄二 千葉県出身、1958年生</p>	
<p>【現職】 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授</p>	
<p>【学生へのメッセージ】 みなさんはそれぞれの夢を持って入学されています。夢が本当になうということが信じられなければ努力はなかなか続かないものです。現実には不安がつり様々な迷いが生まれてきます。それが目標に向かって日々努力しているうちに結果が出て不安が消えていきます。最初は自分の夢が現実のものでなくても次第に目標として定まってくる。卒業後に新しい目標に向かうエネルギーや自分で切り開いていく勇気が湧いてきます。それぞれの夢がプロセスの中で進化していくことを期待しています。</p>	
<p>【専門分野】 小売経営、経営コンサルティング、チェーンストアシステム、オペレーション戦略</p>	
<p>【担当科目】 リテールマネジメント、コンサルティング技法、経営診断実習Ⅰ・Ⅱ、プロジェクト</p>	
<p>【研究室（階と番号）】 4階、10</p>	
<p>【メールアドレス】 namiki@im.i.hosei.ac.jp</p>	
<p>【主な経歴】 81年3月（株）セブン-イレブン・ジャパン入社。 89年4月 中小企業診断士登録（学）法商学園 東京商科学院専門学校入社。 93年3月 経営コンサルタントとして独立。 07年4月 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科客員教授 10年4月 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授</p>	
<p>【主な研究業績/社会的活動】 [著作・論文] 「コンビニエンスストア マーチャンダイジング ハンドブック」2009、商業界。「郵便局改革」2007、郵研社。「新商業用語辞典」（共著）2003、商業界編。「スーパーバイザーの実務」2002、商業界。「マーケティング革新の時代 営業・流通革新」（石井淳蔵編）1993、有斐閣。「花のしごと基礎講座」（法政大学産業情報センター編）1996、農村文化社。 [社会的な活動] 総務省「公民連携によるまちなか再生事例に関する調査研究事業」2014、国税庁『税務大学酒税行政研修』2013～、経済産業省中小サービス評価診断システム整備事業委員 2010、浦安市優秀企業選定委員 2010、法政大学地域研究センター「遠隔授業・地域で生き残る小売店」2009、都市計画学会「大阪駅前にふさわしい景観形成・歴史継承のあり方に関する検討委員」2007。</p>	
<p>【所属学会・団体】 所属学会：日本経営診断学会、日本マーケティング学会</p>	

所属協会：中小企業診断協会、日本販売士協会
【資格・表彰】 中小企業診断士、05年郵政記念日 総裁表彰

[研究業績・社会活動等報告書]

1. コンサルティング アドバイス

経営コンサルタントとして20年、200社以上のコンサルティング実績。支援企業はチェーンストアを中心に、小売業、サービス業、卸売業、メーカー、行政など幅広い。コン

サルティング内容は、チェーンストア組織の構築と改革、流通業の企業診断と戦略支援、店舗指導者（SV）の育成、店舗診断と改善指導、新業態開発、新商品開発プロジェクト、メーカーのチャネル対策と営業戦略、CS調査による店舗オペレーション改善など。育成した経営支援者は1000名、改善店舗は2000店舗を超える。

（コンサルティング代表実績：郵政グループ 02年 郵政事業庁プロフィットセンター事業のコンサルティング、モデル局の改善指導等 03年～07年 日本郵政公社 郵便局改革コンサルティング、スーパーバイザー育成 09年～物販ビジネス指導など 14年窓口プロモーション研修。）

2. ゼミの特徴

領域は幅広く実践的なテーマに取り組む学生が多いのが特徴です。研究室の中での議論だけでなく外部の企業セミナーや企業訪問などを行い実務感覚を磨きます。毎年、OBも参加して海外のフィールドワーク（中国、台湾、マレーシア、インドネシア、フィリピン）や企業訪問を行っています。OBには実際に台湾やフィリピンで起業して成功した方、経営コンサルタントとして独立した方、社内での新規事業に取り組む方、ベンチャー事業に取り組む方などがいて交流をしています。卒業後の事業はプロジェクトがベースになりますが、実際には卒業後に修正をしています。そう意味では、卒業後も長く一緒に取り組める方を望みます。